



赤ちゃん学研究センター



「赤ちゃん学」の「赤ちゃん」は人の始まりを象徴しています。赤ちゃん学は、小児科学、発達科学、発達神経学、脳科学、教育学、保育学、物理学、ロボット工学、倫理学など多角的な視点で、人の起点である赤ちゃんを研究する異分野融合型の新しい学問領域です。さまざまな「子どもの心の問題」が社会問題化している現在、そのような問題に対処するためには、問題の根本にある子どもの心と体の発達とその関係について総合的に研究する必要があります。発達とは連続する変化のプロセスであり、どこかだけを切り取ってすべてが明らかになるわけではありません。そのため研究対象は幅広く、赤ちゃんの運動、感覚・知覚、認知、言語、社会性などの各機能の発達プロセスとその障害のメカニズムの解明、その支援、さらには、胎児や乳幼児の人権にまで及びます。「赤ちゃん学」は研究者同士、そして異分野研究をつなぐ架け橋を築き、また研究と社会をつなぐ架け橋も築いています。

そうした構想を初期に掲げ、赤ちゃん学を牽引してき

た小西行郎先生が、2008年10月、同志社大学に寄付研究プロジェクトとしてのセンターを設置したのが最初の一步でした。2010年には京都大学の医学研究科とともに環境省が公募したエコチル調査（子どもの健康と環境に関する全国調査）の京都ユニットセンターとして採択され、その後を支える屋台骨ができました。その後、2012年、文部科学省の科学研究費補助金の中でも大きな研究費にあたる「新学術領域研究」に採択され、赤ちゃん学らしく領域を越えたネットワークが広がり、多くの研究者が赤ちゃん学研究センターに集うようになりました。そして2015年、それまで寄付研究プロジェクト名だった“赤ちゃん学研究センター”が、大学の先端的教育研究拠点である“赤ちゃん学研究センター”として認められました。その年は文部科学省の“共同利用・共同研究拠点”の認定をもらうための申請の準備に、学内の多くの先生方の協

力を得て会議を重ねましたが、2016年4月、文部科学省の認定をいただくことができました。

2016年度からの3年間は、スタートアップのための事業費も獲得することができ、スタッフも徐々に増え、快風館の設備や機器も充実させることができました。赤ちゃんを中心とした研究も広がり、多くの研究者が集い、また研究協力をしてくださる赤ちゃんやご家族の方々が足を運んでくださり、まさに「拠点」としての事業の緒に就くことができました。

さらに2019年度からの3年間も「機能強化支援」を得る事業として採択されたのですが、9月に小西先生が他界されたため、4月から副センター長として着任されていた板倉昭二先生（専任フェロー／教授）がその後を引き受け、グローバルなセンターをめざして留まることなく前進を続けています。

赤ちゃんはわき目もふらず前進します。根拠のない自信に満ち、失敗すら笑いに変え、あるときふっと何かができるようになったり、何かに届くようになる、そんな力を「はじまり」の頃から持っています。そうした赤ちゃんを見習って、赤ちゃん学研究センターも邁進してまいります。ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

詳しくは同志社大学赤ちゃん学研究センターHPをご覧ください。



2020年リユニオン 全同志社人ゴルフ大会中止のお知らせ

謹啓 日頃より同志社校友会活動にご協力・ご理解いただきまして誠にありがとうございます。

さて年に一度、皆様とお会いする大変有意義な機会でございます「全同志社人ゴルフ大会」の開催につきまして、新型コロナウイルスの感染状況に鑑み、協議いたしましたところ、ご参加者の安全を第一に考え、万が一にも感染が拡大するような事態を回避するために10月10日に開催を予定しておりましたが、止む無く中止する事と致しました。

プレーを楽しみにされていた皆様には大変申し訳ございません。

一日も早い事態の終息をお祈りするとともに、安心して過ごせる日々が一刻も早く到来し、皆様と再びお会いできますことを心より楽しみにしております。

まずは略儀ながら御報告申し上げます。

同志社校友会副会長
イベント委員長 豊原 洋治

樹徳会 定時総会中止のお知らせ

今秋、9月22日(火・祝)開催予定の2020年度同志社大学商学部「樹徳会定時総会」は、世界中に広がる新型コロナウイルスの感染拡大で中止することになりました。

商学部樹徳会(南美樹徳理事長)は卒業生の集う同窓会、商学部とともに歩んできた親睦団体で学内でも古い歴史を誇り、6年後には創設100周年を迎えます。

中止決定は新型コロナウイルス対策の会合自粛を受け、事前に配布した意見の諾否などを参考に、役員会で決定しました。

なお今年はこの定時総会をはじめ樹徳会諸活動も中止されており、会員の皆さんに年1回愛読されている「樹徳会報」(160号)も、今秋号(9月22日発行)は発行せず、来秋号(161号)と合わせ合併号として発行されます。

information

内容盛りだくさんの会報を発行!

今年度は感染症拡大防止の観点から、残念ながら総会・懇親会を中止いたしました。毎年恒例の同窓会報を8月上旬に発行しました。

昨年度の活動報告をはじめ、「仕事の中で活かされている同志社心理」をテーマにした同窓生の寄稿、新任・退任の先生方の寄稿など、読みごたえある内容です。心理学同窓会員の皆さんは、心理学同窓会ホームページでぜひご覧ください。

会報閲覧時に必要なパスワードが不明な方は、同窓会事務局までお問い合わせください。なお、Eメールアドレスを登録していただくと、今後、会報発行の際にはパスワードとともにメール配信にてお知らせします。この機会にぜひホームページの連絡先変更フォームから登録ください。

☆ホームページ:www.d-shinri-doso.com
「同志社大学心理学同窓会」で検索してください。

心理学同窓会

同志社大学 心理学同窓会報

2020年8月号 第160号

未曽有の災禍が一日も早く収束することを願ひ、来年は笑顔でお会いできることを祈念いたします。

— 2020年度総会・懇親会中止のお知らせと暫定措置にご理解お願い —

コロナ禍の発生を受け、この度の総会が中止となり、誠に申し訳ございません。

2020年度 事務局 役員

2025年 心理学同窓会100周年記念事業に向けて

入学センターが公式YouTubeチャンネル開設

同志社大学入学センターが公式YouTubeチャンネルを開設しました。キャンパス紹介、入試制度について、また各学部紹介、模擬講義等、卒業生が見ても楽しい動画が盛り沢山です。是非ご覧ください。



お詫び 7月号・8面、「一人暮らし学生の食生活支援」記事の中で、今出川協力店に寺町京極商店街振興組合様が抜けておりました。多大なご協力いただいたにもかかわらず、失礼いたしました。心よりお詫び申し上げます。(編集局)